

News

社内報が特別賞を受賞

スタッフにフォーカスした内容が高く評価される

テイクアンドギヴ・ニーズ(本社:東京都品川区)が発行する季刊社内報「T&G TIMES+」は、3月13日、2017年度「経団連推薦社内報審査」において、雑誌・新聞部門の特別賞を受賞した。

「称える」、「頑張る」、「未来」、「楽しい」の4つの編集方針をキーワードに、2016年から春、夏、冬の年に3回、季刊誌として発行している。

「発行以前は、店舗で開催したイベント情報などをメールで配信していました。2年前から内容を一刷新し、1号につき約30ページの全面カラーに。縦50cm、横30cmと大型サイズで刷っています。」(社内報編集長・長谷部潤史郎氏)

社内報チームは広報メンバを始め、コールセンターや内部監重部などのスタッフが業務を兼務。現在は12名で担当している。あえて部署を作らずに各部門スタッフが結集することで、様々なアイデアが生まれると考えている。

社内報は毎月テーマを設定。これまでに実際にあったのが、「覚悟を決める」。出産後に退職



社内報編集長
長谷部潤史郎氏

するか迷ったが復帰した女性スタッフや、ジョブプロテクトに異なるポジションに果敢にチャレンジした人材をピックアップし、見開きページで紹介。勤続年数にとらわれず、実際に起こしたアクションをしっかり評価することで、掲載スタッフはもちろんだ、そのスタッフが働く店舗も喜びを分かち合い、士気を高めているという。

そのほかにも代表取締役社長・岩瀬賢治氏と長谷部編集長の対談や、在籍するシェアが提案する料理レシピなども掲載。全国展開し、グループ合計社員数2357名(2018年2月現在)の同社だからこそ、様々な人を知れるコンテンツを盛り込み、発信、共有している。

社員が主役になっている点や、掲載スタッフの写真を大きく1ページで使うなどのデザイン性、企画・制作を一貫して社内で行う点などが高く評価され、今回の特別賞受賞に至った。「社員の活躍を社内共有できる社内報は、喜んでもらえよう、編集メンバー一同が楽しみながら作成しています。社員の活躍が社外にも伝わり、評価されるのは嬉しい限りです。」(長谷部氏)



2017年度経団連推薦社内報表彰式
経団連事業サービス社内広報センター

▲笑顔を見せる長谷部氏(左)と岩瀬賢治社長(右)

ディーズ・ブレイン (本社:東京都港区)が運営するザ・サフオオーションテラス(千葉県千葉市)は、3月21日~23日の3日間、オープン2周年記念イベントを開催した。350名以上が来場した。

2016年3月に開業した同施設は、学式や音楽イベントに使用出来るホールやバンケットの他、レストラン、水着が入店可能なベーカーリーショップなどを備えた複合施設。稲毛海浜公園内に位置しており、目の前に海を望むことができ。平日は子ども連れのママグループ、長期休暇期間は大学生など若い世代の利用もあり、地元根付いた施設となっている。



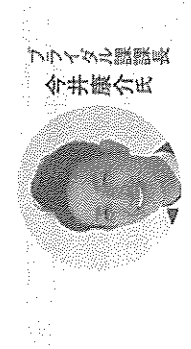
▲フアラワー教室も無料で開催

開業2周年記念イベント

「稲毛海浜公園はランニングやサイクリングコースが整備されていることから、スポーツを楽しむ人が多く集まります。健康への関心が高まっていることもあり、参加無料のスポーツ教室を取り入れました。」(ウエディング事業部マネージャーケイト・野崎紗智子氏)

イベント当日は講師を招き、正しい走り方や5キロのランニングを実施。ヨガはマットを使わず、椅子を用いて気軽にできるものを行った。レストランではランチ、デザートにもスベシャルコースを提供。22日、23日の2日間は千葉・酒々井で300年続く蔵元の日本酒や、堆肥にこだわった県内の農園などがマシエとして出店した。

「初めて施設に来たという人も多く、会場の認知度向上だけでなく、今後のレストラン利用などにも繋がっていると期待しています。」(野崎氏)



プライベートサロン
金井康介氏

戸校。披露宴を開催する際は、携え、披露宴を組む、フォトウエディングの提案など、幅広いイメージを学生が主体となり提案してきた。

「1チーム約6名で編成。2017年度は2校合わせて60組のカップルの挙式、披露宴、写真撮影をサポートしました。」(大阪校フライダグ課課長・今井康介氏)



▲達成感から涙を流す学生も

ロイヤル学園

ロイヤル学園は、2月19日、2017年度サロン実習閉店式を、運営する大阪ベ

大阪・神戸サロン実習閉店式
2校合わせて60組をサポート

ルエベル ビューティ&フアラワー専門学校(大阪市北区)と神戸エベル美容専門学校(神戸市中央区)の各校で開催。次年度へ引き継いだ。9月から2月にかけて、2年生が実際のカップルの結婚式をプロデュースする、「サロン実習」を実施している大阪校と神



代表取締役社長
澤野直樹氏

不安要素のヘアリングやその解決策、自社の魅力は何か、入社後の成長ポイント、個々に対する期待など時間をかけて伝えたことが功を奏し、内々定・内定ともに辞退者数の大幅減少に繋がったとみられています。」(経営管理本部広報IR担当部長・山代有紀氏)

入社当日、代表取締役社長の澤野直樹氏から全員に、配属店が発表された。澤野氏は、「人工知能が成長を続ける今、AIには出来ない顧客1人1人に寄り添った提案・接客で、高付加価値を生み出してほしい」と61名にエールを送った。新入社員代表の松元楓花さんは、「会社説明会で見た先輩の笑顔に憧れ、「私もこうなりたい」と思ったのが全ての始まりでした。社会人としての厳しさや責任感の大きさなど不安要素もありましたが、先輩から多くを学び、苦しい時間も自身の成長の糧に、会社に貢献できるスタッフを目指していきます」と意気込みを語った。

AIには出来ない接客を期待 今年度入社式を開催

プリモ・ジャパン (本社:東京都中央区)は、3月28日、帝國ホテルで2018年度入社式を開催。61名が新たなスタート地点に立った。

2018年度新卒の総面接者は1600名で、前年度対比で約1.2倍に。また、昨年は内々定辞退者数が13名だったのに対し、今年度は1名。内定辞退者数も0となった。

同社は2016年度の秋に、3年間の教育プログラムを一新。入社から10年間の長期的なものに成長する喜びややりがいを感じられる仕組み作り、注力してきた。

「今年度からは、人事スタッフ11名が最終面接合格者全員と、1時間の個別面談を実施。あえて複数教社員で対応しなかったのは、面談のブレを防ぐため。

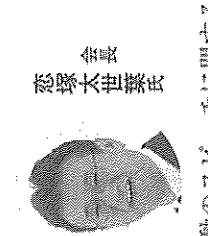


▲配属先の発表も

中部地区勉強会に80名が参加し意見交換

全日本プライダグMCアラリアンス

全日本プライダグMCアラリアンス(東京都世田谷区)は、2月21日、マラハジャヤ名古屋にて、第7回BMCA名古屋ミーテ



会長
金井康介氏

ィングを開催した。中部地区を中心に、東京や大阪、鹿児島、沖縄などから、司会者や写真関連企業など80名が参加した。婚礼司会者の品質向上やコミュニケーション、ビジネス支援を主な目的に、全国組織として2005年に発足した同団体。現在は北海道から沖縄まで、750名が加盟している。

勉強会当日は同団体会長の金井康介氏の「プライダグ人類学」と、日本ベブプロトークと、協会の岩崎純代普及理事による、勇気を表



▲協会の加盟人数は750名規模